

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北陸)		タクシー運転手	・足元が悪くなる日々が続き、利用客も増えると見込む。また、新年会などでタクシー利用が増える見込みである。
		一般小売店〔鮮魚〕 (役員)	・ここ数年12月になると海がしけて肝心のカニの水揚げが大変不漁だったが、今年の冬は比較的天候が安定するとの予報なので、海がしけなければそこそこの売上が期待できる。
		百貨店(売場主任)	・来年の消費税の引上げを控え、今シーズンはコートなどの冬物重衣料を前倒して購入する動きがみられる。クリアランスを含めた冬物商戦は好調に推移すると見込んでいる。
		百貨店(営業企画)	・11月は来客数、売上共に前年並みに推移している。さらに、来年に入ると、消費者には平成最後であることと、消費税の引上げの意識がより芽生え、消費への意欲が高まることが期待できる。
		コンビニ(エリア担当)	・年末ボーナスや給与環境は上向き傾向である。
		乗用車販売店(従業員)	・12月が決算月でもあり、追い込みに期待している。
		住関連専門店(役員)	・いよいよ消費税の引上げ前の需要が本格化し始める時期に入る。過去の事例からも、消費税の引上げ前での需要増加は見込めるが、今回は爆発的な売上増加にはならないと考える。
		都市型ホテル(役員)	・宴会部門において、2019年1月以降新年会、コンベンション、企業周年など例年以上に大型の予約受注をしており、宿泊部門、レストラン部門への波及効果を考慮し、全館では景気動向がやや良くなると見込んでいる。
		住宅販売会社(従業員)	・年末年始は例年どおりと見込まれるが、来年は1月からわりと大きな住宅イベントが控えており、各社共に積極的に営業活動を行うだろう。また、3月契約までの消費税の引上げ前の駆け込みがあると見込まれるので良くなるとみている。
		住宅販売会社(従業員)	・購買意欲は弱くないので、消費税の引上げによって一時的には増えつつである。
		住宅販売会社(従業員)	・例年、冬場は客の動きが鈍くなりがちだが、今年は消費税の引上げ前だからか、土地も動いているため、販売量は好調だと考えられる。
		商店街(代表者)	・暖冬が予想され、足元の悪さの心配はやや薄らいだが、購買意欲を促すようなことはなさそうだ。消費税の引上げを見込んで、無駄遣いをしないなど買い控えの傾向もみられそうである。
		商店街(代表者)	・前年度は、9～11月は平均して入込客があったが、今年は10月は若干回復したものの、9～11月が極端に落ち込んでいる。原因はよく分からないが、年末にかけてのばん回を期待したい。
		一般小売店〔精肉〕 (店長)	・今月は、肉、ハム共にギフトが好調に推移している。今月より良くなるかは疑問であることから、変わらないとみている。
		一般小売店〔事務用品〕 (店員)	・年度末の需要が見込めるが、官公庁の調達案件が以前から減少傾向であり、しかも競争激化のため、受注につながるケースが減っている。
		スーパー(総務担当)	・前年2月の記録的大雪は売上、除雪費用などに影響はあるものの、それ以外で大きな変動要因はない。
		スーパー(店舗管理)	・現状の来客数は前年を確保できている。ただし年末商戦などに影響があるとはみていない。
		コンビニ(店舗管理)	・好転材料が思い当たらない。
		衣料品専門店(店舗運営)	・引き続きの店舗リニューアルを予定している。
		家電量販店(店長)	・BS4K放送にてテレビなどの売行きが好調とみられるが、暖冬になりそうのため暖房器具の販売量が落ち込むと見込んでいる。
	家電量販店(店長)	・暖冬の影響で今季節商材の動きがなかったのでその反動があると思うが、前年比では気温が高く余り期待できない。	
	家電量販店(本部)	・12月1日から4K・8K放送が開始されることもあり、4K対応テレビ、有機ELテレビなど高額なテレビの販売が好調であるが、年越し以降、一定の落ち着きが想定される。	
	乗用車販売店(経営者)	・例年当地域では、この時期の販売は余り良くない。年明けまではこの状況が続くとみている。	
	自動車備品販売店(役員)	・来年の消費税の引上げに向けて販売戦略を仕掛けているが、客の反応は鈍く需要喚起につながっておらず、逆に慎重になっている。	

	その他専門店〔酒〕 (経営者)	・これ以上悪くなってほしくないという、ただそれだけのことで変わらないとした。
	その他小売〔ショッピングセンター〕(統括)	・来客数は前年並みで進んでおり買い控えなどの様子はないが、衣料品のトレンドが改善することは難しい状態のため、他業種で巻き返すことが必要である。
	高級レストラン(スタッフ)	・忘年会、新年会の受注は例年並みで推移している。
	一般レストラン(店長)	・外国人観光客の来店も増えてきている。
	都市型ホテル(スタッフ)	・現状の受注状況は良くなく、樂觀はできない。
	旅行代理店(所長)	・得意先の経費削減が解除されないと現状からの回復は厳しい状況である。
	タクシー運転手	・忘年会のシーズンに入るが、客からはまだ段取りをしていないとか、回数が減っているといった声を聞いている。
	通信会社(営業担当)	・月々の料金を少しでも抑えようと要望する客が多いようである。
	通信会社(役員)	・BS4K放送スタートに合わせて、テレビ契約の増加とともに通信サービスの同時契約も増えており、この傾向はしばらく続くと考える。
	通信会社(役員)	・例年閑散期に入るが、4K放送関連での問合せが増えており、契約数の減少を補えると見込んでいる。
	パチンコ店(経理)	・特段影響がみられるような情報がない。
	競輪場(職員)	・販売額に大きな変化がみられない。
	美容室(経営者)	・前年は豪雪であったが、今年が予報どおりの暖冬になれば、消費も活発になる。
	一般小売店〔書籍〕 (従業員)	・良くなる要素は何もなく、年末に向けて値上がり、資材高騰など悪い要素しかない。
	百貨店(販売促進担当)	・2025年大阪万博が決定し、2020年東京オリンピックに続く希望の光が芽生えた。しかし、消費税の引上げ後の反動減対策が、全く一時的かつ限定的であり、消費者の購買心理に悪影響を与えており、景気回復の足を引っ張っている。
	スーパー(総務担当)	・これから12月は年末商戦を迎えるが、出費も増加するため無駄な出費を減らしていくとみられる。
	スーパー(統括)	・暖冬の予報が出ており、季節商材の動きが悪くなると業績に影響する。
	衣料品専門店(経営者)	・現状の厳しさは当面続きそうであり、人手不足が店の存続を困難にしている。
	一般レストラン(統括)	・この先、消費税の引上げ、軽減税率の話題が色濃くなり、販売点数、売上高は一時的に上がると思われるが、まだ外食産業はさほど恩恵はないとみている。さらに、この対応に膨大なシステム改修費と時間を要する状況で、営業利益高が一段と減少する。
	スナック(経営者)	・冬季間の天候にも左右されるが、先が分からない世間において、楽観的な見方はできない。
	観光型旅館(経営者)	・今年の大雪の影響が年明けからの予約状況が悪い。特に2月の入込状況は例年の80%ほどになっている。
	観光型旅館(スタッフ)	・前年比の予約保有率は11月が98%、12月が105%、1月が133%と推移している。しかし2~3月が82~83%と弱くなっている。4月以降の仕入れは好調である。
	旅行代理店(支店長)	・契約量から見込める販売量の動きが落ち込んでいる。
	通信会社(職員)	・暖冬なら小雪で工事関連は滞り少なく進むが、前年の大雪対策としての出費が予想以上に多い。
	テーマパーク(役員)	・先行きの予約状況を見ると、前年同月比で、国内の団体客やインバウンド客の予約が鈍ってきており、やや悪くなるとみている。
	その他レジャー施設 〔スポーツクラブ〕 (総支配人)	・冬場に向かって、新規入会が一番取りにくい時期に入る。また、暖房などの燃料費がかさんでくるので今まで以上に大変になる。
	住宅販売会社(営業)	・消費税の引上げの駆け込みがないまま、消費税の引上げが実行されることにより、客のマインドがより一層ダウンしそうである。
	x	-
企業 動向 関連 (北陸)		-
	食料品製造業(経営企画)	・年末の需要期を迎え受注量は確実に増加するが、労働力不足もあって生産が負けてしまうだろうという見通しである。
	繊維工業(経営者)	・受注状況は、価格面では非常に厳しいが、数量的には維持しており、来年3月くらいまでは何とか見通しが立っているところである。
	金属製品製造業(経営者)	・2~3か月先の受注の入り具合をみて、変わらないと判断している。

	一般機械器具製造業 (経理担当)	・企業の設備投資も落ちてきたからか、産業用の設備部品などの受注の伸びが減速してきている。一方で価格面ではこれまでの競合による低価格競争から一転し、ある程度の利益水準で価格設定できる環境になってきている。
	精密機械器具製造業 (役員)	・前年に比べ春先まではそれなりに高い稼働率を維持できそうだが、既存店の状況は、いわゆる低価格、新業態の競合店に圧されている気配である。
	建設業(役員)	・一部原材料の値上げ傾向がみえるなか、利益確保も段々と厳しくなるのではとの不安がある。
	輸送業(総務担当)	・燃料価格の下落、燃料価格を含めた更なる運賃交渉に進展がみられればと期待しているが、現時点においては難しいとみている。
	通信業(営業) 金融業(融資担当)	・提案件数に減少がみられない。 ・足元好況だが、人手不足感はますますひっ迫しており、好調な需要に対応できない企業が増える懸念がある。最近は、業種を問わず、資金繰りの悩みよりも、人手のやり繰りの悩みを口にする経営者が特に多い。
	新聞販売店[広告] (従業員)	・11月も前年売上比を下回っている。ただし、横ばいの業種も少し増えてきているので、前月ほどの落ち込み方ではない。横ばいの業種の中に住宅関連のチラシ出稿もあり、静観していきたい。
	税理士(所長)	・これから年末年始であり、いよいよ平成も終わるということで、気分的には消費が上向いてくるのではないかと。客の小売業関係者も、ディスプレイなどで頑張っており明るい感じもあるが、人手不足による減収や収入源が、中小企業には切実に迫ってきている。何ともいえないというのが、正直なところである。
	プラスチック製品製造業(企画担当)	・産油国の不安定材料による原油価格の不透明感や米中貿易摩擦の動向など、今後の成り行きに懸念材料が多く、見通しは不透明感を増してきている。
	一般機械器具製造業 (総務担当)	・引き続き北米、欧州、国内市場は好調を保つと考えている。しかし、中国からの立形マシニングセンタに対するアンチダンピングの影響が心配している。
	建設業(経営者)	・12月14日以降、さしたる手持ち工事がなく、年内は社員が遊ぶ状況になる。また、来年1月も手持ち工事がなく、先行きが思いやられる。
	金融業(融資担当)	・ボルトなど一部の建築資材が不足していることと、人手不足が顕著であるため工事の進捗が遅れている。
	不動産業(経営者)	・特に個人の問合せが少ないことと、動き自体が急がなくなってきたという話がよく聞かれ、この後の先々の動きも少し鈍くなっているという状況である。
	x	-
雇用 関連	-	-
(北陸)	求人情報誌製作会社 (編集者)	・大きな雇用の話がでない。
	新聞社[求人広告] (担当者)	・消費税の引上げ前の割には大きな出費系の動きは鈍く、逆に消費税の引上げ後に大きく落ち込む要素も少ないのではないかとみている。
	新聞社[求人広告] (営業)	・この1年は余り動きがなかった。来年も大きなトピックがないのではないかと。
	職業安定所(職員)	・11月の新規求人数は前年同月比でやや減少となっているが、求人を受理する流れの中での数字の範囲であり、これをもって平均がどうということは、まだ現在はいえない。今後の動きについて十分注意していくことは必要だと思うが、窓口に来る企業からは、なかなか人材が確保できない、人手が確保できないという訴えをよく聞くことから、当面この状態は続くのではないかと考えている。
	民間職業紹介機関(経営者)	・求人募集の条件も従来どおりのままでは人が集まらない。むやみに給与アップや休日の増加と条件を引き上げるわけにもいかないで、困っている。
	学校[大学](就職担当)	・次年度に向けての求人案内が前年以上に出足が良く、好景気感が続いているように感じる。
	*	*
	x	-